

魅力たっぷりの海洋高校をのぞいてみませんか？



【新巻鮭製造実習(11/29)】

キーワードはダブル3S

学習3S

海 : Sea、船 : Ship、水産物 : Seafood &

取組3S

S : 進路保障、S : 集中実習、S : 資格取得

“ 1%の可能性があればかけてみたい！

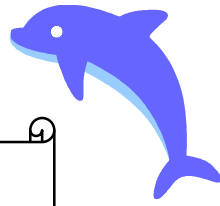
1%でも可能性があるのでなら必ずつかんでみせる！”

レスリング世界選手権1999、2005、2006チャンピオン 正田 絢子



京都府立海洋高等学校





番号	項目	ページ
1	進学	2
2	就職	7
3	クラブ活動	10
第1回配布分		
4	学科・コース紹介	15
5	資格取得	20
6	多様な実習	21
第2回配布分		
7	施設・設備	30
8	指定事業	33
9	研究発表	35
10	ボランティア活動・生徒会活動	38
今回配布分		
11	小中高連携事業・サタデー広場、学校開放講座	
12	特徴的な取組	
13	体験学習参加者感想	
14	その他の報道	
15	黒潮寮（男子寮）	
16	下宿（男子・女子）	



7 施設・設備

最も多くの府費が投入され設立、維持されている充実した学習環境！

船あり、プールあり、測量、電気、微生物、作図、分析化学、施工、土木あり・・・

(1) 実習船



みずなぎ (185t)



かいよう (19t)



むそう (2t)



(2) 海洋スポーツ関係



(3) 海洋工学科関連

ダイビングプール（水深10m）



溶接プール、水理実験室、海洋
土木実習室、測量・施工実習室、
海洋作図室、電気基礎実習室、他
にまだまだあります！

海洋土木実習室で溶接の実習
中です。

(4) 海洋資源科関連

栽培漁業実習室



大小40あまりの水槽で、
魚などが飼育されています。



食品製造第1・第2実習室



分析化学実験室



微生物実験室



情報処理実習室



水産経済実践室など他にまだ
まだあります！

8 指定事業

(1) 京都府教育委員会指定「学力向上フロンティア校」支援事業

今年度、京都府教育委員会から「学力向上フロンティア校」支援事業の指定を受け、研究活動プログラム・製造販売プログラム・資格取得プログラムの3つの柱を中心に“プロフェッショナル・アイズ～職業人の視点～”の育成を目指しています。

多くの補助金をいただき、今まで取り組めなかった様々な活動を展開しています。

- ア 海洋科学科 ……トリガイ育成、森林での環境学習など
- イ 航海船舶コース…エチゼンクラゲ混獲防除網の開発・日本海深海生物リスト作成など
- ウ 海洋技術コース…ヒトデ堆肥化の試み・グラント整備用トンボ・ベンチの作製など
- エ 栽培環境コース…トラフグ養殖など
- オ 食品経済コース…実習製品のアンテナショップなどでの販売など

学力向上フロンティア事業の取組について、現段階で新聞に23回掲載され、4回テレビに放映されるなど、メディアからとても注目されています！

取組の中には、全国初や高校初の挑戦がいくつも含まれており、日々、解明されていない現象をひもとく興奮と、踏み込んだことがない領域へ身を置くことの緊張感を味わっています！



森林実習（大江山）



ヒトデ堆肥化



トラフグの歯切り



チャレンジショップ（福井県高浜町）

(2) 文部科学省指定「豊かな体験活動推進事業」

文部科学省指定の「豊かな体験活動支援事業」を受け、地元の宮津市立栗田小学校及び栗田中学校とともに、豊かな人間性や社会性を育むために、学校・家庭・地域社会が一体となってさまざまな体験活動に取り組んでいます。

ア 栗田駅「花いっぱい運動」〈読売新聞・京都新聞10/5掲載〉

駅前の花壇を猛暑の中、除草・剪定を行い、小・中・高生が一緒になって花をいっぱいにし、地元の方から感謝の言葉をいただきました。これからも、花が咲き続け、地元の方の憩いの場所となるようみんなで頑張ります！

イ 社会福祉体験〈NHK9/28放映、京都新聞7/29掲載〉

小・中・高生みんなで、かまぼこ・はんぺんなどを作り、地元の老人ホームに届け、おいしく食べていただきました。地域が一つの輪になり、温かさが伝わってくる取組でした。直接手渡しをさせていただいた時の、「ありがとう」の一言は、ずっと忘れられません！



栗田駅での花いっぱい運動



老人ホームへの実習製品プレゼント

ウ トラフグ給餌

全国初の陸上水槽でのトラフグ養殖に、小学生・中学生も協力してくれています。

毎週、各学年が順番に餌やりに来てくれ、全長と体重を測定し、その成長過程をグラフ化することによって、発育状況を確認しています。全国初の成功に向けて、小・中・高生がスクラムを組んで頑張ります！



9 研究発表

12月14日(金)全国水産・海洋系高等学校生徒研究発表大会出場!

(1) 日本海南部地区高等学校水産教育研究会

生徒研究発表の部 最優秀賞

「『丹後とり貝』による地元水産業界の活性化について」

研究成果を発表することによって、推薦・AO入試で求められるプレゼンテーション能力に磨きをかけて、進学後や社会に出てから不可欠なコミュニケーション能力を培います。また、今まで解決されていない課題に目を向けることによって、地元の水産業界の活性化や発展に貢献しています。



堂々たる態度で発表



最優秀賞を受賞

海洋科学科が推進する「トリガイ研究」の成果をまとめ、研究発表としては珍しい対話形式でまとめるなどプレゼンテーションの様々な部分に十分な工夫を施し、堂々とした態度で発表しました。発表後は賞賛の言葉や拍手で、会場は一杯になりました。審査員の中には、満点をつけた方がおられたようです!



京都府教育長表敬訪問



宮津市教育長表敬訪問

先輩が昨年開始したトリガイ育成の研究を引き継ぎ、その成果と課題を明らかにし、対策をみんなで検討することにより、8月7日に、稚貝400個で、今年度の育成を開始しました。< K B S 京都 8 / 7 放映 >

【トリガイ育成関連スナップ】



これがトリガイ！



KBS京都テレビ取材



京都新聞取材



育成・管理



調理講習会

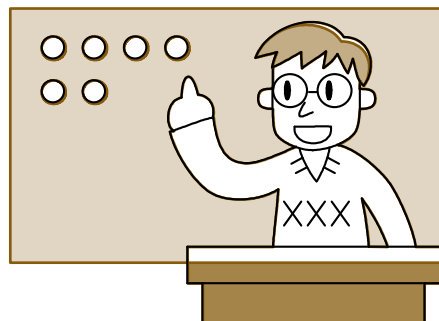


一般の方への提供

(2) 京都府青壮年・女性漁業者漁業者交流大会

京都府水産業の振興発展と漁村生活の向上を目指すため、漁業協同組合関係者ととも、日頃の活動状況や問題点等について発表を通じて交流しあう取組です。

京都府海洋センターや京都府水産事務所、京都府漁業士会など、京都府の水産業を支える方々が勢ぞろいされる中で、海洋高校生も堂々と研究成果を発表しています。



【これまでの発表題】

- 平成10年度 「フグ類を使った実習製品の製作について」
- 平成12年度 「トロール漁業の季節的变化」
- 平成13年度 「地域水産業理解の取組」
- 平成14年度 「若狭湾西部の海洋環境について」
- 平成15年度 「波浪がイワガキに与える影響について」
- 平成16年度 「エチゼンクラゲの大量発生の謎に迫る」
- 平成17年度 「シーフード同好会の活動紹介と未利用資源の利用方法について」
- 平成18年度 「新ブランド『丹後とり貝』の本校周辺海域での育成の可能性について」
- 平成19年度 『丹後とり貝』による地元水産業の活性化について

(3) 小・中学校教員初任者研修



8月9日(木)・10日(金)に本校で実施された北部小・中学校教員対象初任者研修会の席でも、トリガイについての研究を発表しました。海洋高校を代表する研究発表に、大きな拍手と激励をいただきました。

8日に行われた、中学校教員・保護者、中学1・2年生対象学校体験会でも発表しています。

(4) 学校祭



9月2日(日)学校祭の文化祭部門では、全校生徒や保護者など300名を越す視聴者を前に発表を行いました。

日本海南部の大会で最優秀賞を獲得していることもあり、注目度No.1でした。

(5) 学習・研究成果発表会



学科内発表会



校内発表会(3年)

各学科・コースで、日頃の研究成果をまとめ、プレゼンテーション発表する体系が完成しています。

3年生の学習・研究成果発表会を毎年取り組んでいます。今年度は、平成20年1月末に、海洋センターや漁協関係者など京都府の水産業界の方も審査員としてお招きし、実施します。

10 ボランティア活動・生徒会活動

ボランティア活動を通して、多くの人と巡り会い、視野を広げ、充実した人生を歩もう！3年間、多くの人々の笑顔に包まれ、感謝の心を抱きながら、彩り豊かな一日一日を追い求めよう！やりたいことに何でも挑戦、それから新しい自分が見えてくる！

海洋高校では、自分の知らない世界がいくらでもすぐそばにころがっています！

(1) オッパマ花まつり

地元のチューリップ祭において球根掘りの補助や実習製品の販売をし、大好評の中、アツという間に完売しました。



(2) 由良川てんころレース

第1回由良川てんころレースの開催を盛り上げるために、主催者の方から声をかけていただき、実習製品を販売しました。また、高校生ボート競技に、ボート部が、てんころ船競漕には、ボート部・カッター同好会連合の「ドリームチーム」が参加し、大きな声援をいただきました。



(3) 宮津市障害者青年部交流会

プレゼント交換、歌やゲームで交流を盛り上げます。

ありがとう



(4) FUNAYAの里ベイエリアフェスティバル

夏の終わりを飾るイベントにふさわしい、熱いよさこい踊りを披露し、夏の夜空に鳴り響くような大きな拍手をいただきました。



(5) みんなで海釣り 障害のある人の体験講座

< 京都新聞 7/6・9/2 >

障害のある人と海のレジャーを満喫、5つの針に4匹のアジ！大漁！素晴らしい一時を共有することができました。



(6) 2007 京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会

近畿地方から112クルーが参加する、夏の丹後を彩る大きなイベントで、競技にオープン参加するとともに、海に慣れ親しんでいる経験を活かして、出艇・着艇の補助及びプラカードによる選手誘導等艇競技運営を全面的にバックアップしました。



(7) フェスタ『飛天』2007 in 京丹後

伊根町・網野町在住の方から提供していただいた天草^{てんそう}を使用し、ところてんを作りました。食べていただきやすいよう、いろいろな味で販売しました。

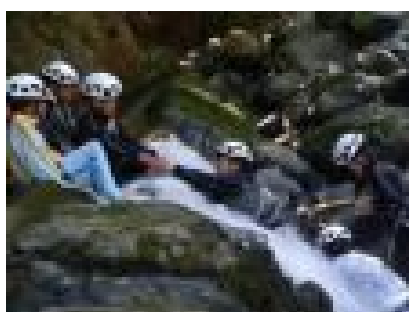


高校生としては唯一の出店となり、多くの人から「暑いけど頑張ってね」とあたたかい声をかけていただきました。



(8) 与謝野町「サマーキャンプ2007」

小学生5・6年生60名とテントで寝食をともにし、マウンテンバイクで4日間約200kmを走破。登山・沢登り等を指導し、小学生の自立の手助けするとともに、苦しい経験を通して自らも成長することができました。



(9) 丹後府立学校・与謝の海養護学校交流会

一日かけて、与謝の海養護学校の生徒とよさこい踊りの練習をして、最後のプログラムで披露しました。本番が来ると、他校の生徒も加わり、とても大きな踊りの輪ができ、よさこいを通して丹後が一つになりました。

(10) 通学路清掃活動

生徒会役員及び黒潮寮生が、普段お世話になっている道を心を込めてきれいにします！



(11) ふるさと海づくり大会

海の環境を守る大切さを胸に、水産業の活性化及び地元地域の発展に貢献するために、海の最大のイベントの成功に協力しました。



スルメやジャムなどの実習製品の販売の他、実習船の公開や、海洋祭で1年生が取り組んだ魚の木彫り、2年生のモザイク壁画等の展示を行いました。

(12) 黒潮寮生：毎朝のボランティア清掃活動

遠く親元を離れ、毎日、多くの人のお世話になりながら勉強やクラブ活動等学校生活が営めることに感謝しながら、毎朝、校舎敷地内及び周辺道路の清掃をしています！



(13) 丹後天橋立ツーデーマーチへの支援

毎年、参加者が700人を越える丹後天橋立ツーデーマーチにおいて、海洋高校を昼食・休憩場所として提供し、他府県の方も含め参加された多くの方々に生徒会役員が学校案内を配布しました。

全国に海洋高校のことを発信する貴重な機会になりました。



(14) 栗田地区老人会

第30回全国高校総合文化祭及び学校祭において非常に高い評価を受けた「よさこい踊り」を披露し、海洋高校の団結力・エネルギーを、立ち見が出るほどの満員のホールに全身で表現しました。海洋高校の勇ましく若い力に、場内からわれんばかりの拍手をいただきました。

(15) 宮津市こどもまつり



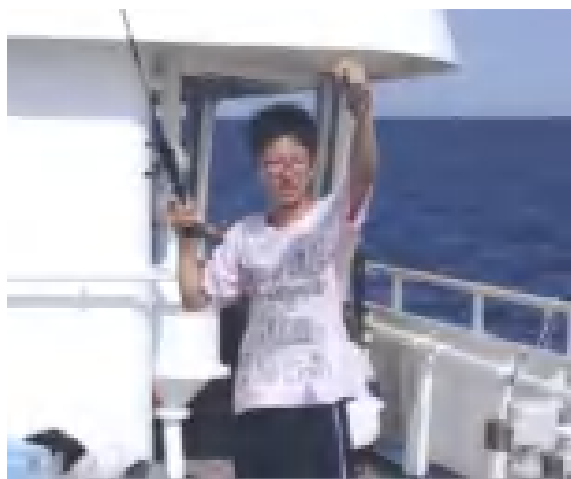
例年300名を越す参加者のあるこの歴史あるイベントをボランティアとして支援し、輪投げ・知恵の輪・竹とんぼなどの手助けをしました。

昔ながらの遊びを通して幼稚園児・小学生と交流し、ボランティアに対する捉え方や視野の拡大を図ることができました。

(16) 京都府高等学校体育連盟両丹支部一般生徒対象全体事業

～スポーツフィッシング～

両丹地区のクラブに所属していない高校生が、公立私立関係なく集い、実習船みずなぎで沖に出て、釣りを通して楽しく交流ができるよう準備・運営等の面で頑張りました。大きなアジがおもしろいほど釣れ、どこのチームも大漁！



(17) みんなでコラボ in 中丹

中丹まなびフォーラムに参加し、海洋高校として初めて、福知山地区において実習製品を販売しました。親子の絆を確かめる手助けをさせていただくことができました。



(18) 与謝野町立市場小学校 3年生親子行事

海洋高校として初めて親子行事をお迎えし、かまぼこ・はんぺんづくり、金魚すくい、海藻押し葉を楽しんでいただきました。3年生の忘れられない1ページになったらいいなと思います。



(19) 栗田地区運動会

すばらしい秋晴れの下、広いグラウンドが狭く見えるほど、力強い踊りをみなさんに見ていただくことができました。地元の多くの方が参加しておられ、まさに地域と「一体化」したことが実感できた瞬間でした。

(20) 宮津市社会福祉大会

最近の海洋高校の各方面でのボランティア活動が高く評価され、招待を受けました。宮津市の福祉に携わっておられる方が一堂に集われる中、福祉大会のオープニングとして地域の活性化を願って、若いエネルギーを舞台いっぱいに表示しました。



大好評の「よさこい踊り」
はじける感動、大きな賞賛！

(21) 作業所バザー

歴史あるこの企画の成功を祈って、各自が割り当てのパートを元気いっぱい頑張りました。当初予定に入っていなかった生徒も飛び入りで参加するなど、「みんなでボランティア」の精神を十分に発揮することができました。



(その3完)